

酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

豊富な草資源を活用した全国一の生乳生産力を有する酪農や水産資源に恵まれた漁業など、地域を支える基幹産業である農林水産業とそれを活かした関連産業の振興を図りながら、商品力の強化・販路拡大の取組を進めるとともに、地域産業の維持のため担い手の育成・確保に努めることで、地域の活力を生み出します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績(令和元年度)

■ 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給

- ◎草地型酪農推進フォーラムの開催
- ◎衛生管理型漁港の施設整備(3漁港)
- 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
- 雑海藻駆除によるコンブ漁場の回復
- 畜産クラスター事業の活用による良質な自給飼料の安定確保、酪農経営体の育成
- サケの安定生産に向けた体制整備支援
- ホタテガイの生産体制の構築に向けた種苗放流調査への支援
- ベニザケ養殖の事業化に向けた海中飼育試験への支援

■ 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進

- ◎販路拡大を目的とした「釧路・根室地域食のブランド・ステップアップ相談会」の実施
- ◎牛乳乳製品PR活動
- 内陸町村イベントでの水産物販売による情報発信(釧路町村会地域づくり広域プロジェクト関連)
- 「くしろ・食のネットワーク」を活用した情報共有
- 「くしろフェア@どさんこプラザ」において釧路の食の魅力PR
- 肉牛の飼養管理マニュアル作成
- マイワシフェア開催による普及活動や販路拡大を促進
- サバ類、マイワシのPRイベント実施(場所:札幌、東京)
- まるごと根室直送市開催(場所:札幌)
(根室水産物普及推進協議会・振興局共催)
- 活〆鮭の普及対策
- 知床らうすブランド認証品をはじめとした特産品のPR

■ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

- ◎「新・農業人フェア(東京・大阪)」の参加及び道外農業系学校において就農に向けたガイダンスの実施
- ◎北の森づくり専門学院の設置に向けた、実習・受入体制の構築
- ◎根釧独自就農フェアの開催(R2.1 場所:東京)
- ◎林業・木材産業担い手確保推進協議会の運営
- 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
- 高校生を対象とした農林漁業出前講座の開催
- 起業した経営者へ地域経済の活性化と雇用促進支援
- 根室管内4町域で各種セミナー実施(南知床4町地域雇用創造協議会)

今年度の主な取組(令和2年度)

■ 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給

- ◎自給飼料利用に係る有識者との意見交換
- ◎衛生管理型漁港の施設整備(5漁港)
- 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
- 雑海藻駆除によるコンブ漁場の回復
- 優良草地確保対策及び省力化技術の普及促進
- 草地整備の施工時期分散化の推進
- 畜産クラスター事業の活用による良質な自給飼料の安定確保、酪農経営体の育成
- サケの安定生産に向けた体制整備支援
- ベニザケ養殖の事業化に向けた海中飼育試験への支援

■ 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進

- ◎販路拡大を目的とした「釧路・根室地域食のブランド・ステップアップ相談会」の実施
- ◎根釧チーズマップの作成・公開
- ◎牛乳乳製品PR活動
- 「くしろ・食のネットワーク」を活用した情報共有
- 「くしろフェア@どさんこプラザ」において釧路の食の魅力PR
- 管内飲食店との連携による地域資源の活用促進及びチーズフェアの開催
- 特産品等開発支援補助金による商品の高付加価値化及び販路拡大の促進
- くしろ食のブランディング戦略の策定・推進に向けたニーズ調査等による検討
- Ok-Biz等管内連携通販サイトによるPR事業
- マイワシフェア開催による普及活動や販路拡大を促進
- 根室産マイワシ「根室七星」販促活動
- まるごと根室直送市開催(場所:札幌)
(根室水産物普及推進協議会・振興局共催)
- 活〆鮭の普及対策
- 知床らうすブランド認証品をはじめとした特産品のPR

■ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

- ◎北の森づくり専門学院の地域における実習・受入体制の構築
- ◎根釧独自就農フェアの開催(オンライン)への参加(R3.2.6)
- ◎根釧酪農の魅力伝えるオンラインセミナーの開催
- ◎退職自衛官の就農支援
- ◎林業(・木材産業)担い手確保推進協議会の運営
- 道外 農業系学校において就農に向けたガイダンスの実施
- パンフレット「くしろの林業・木材産業スタートガイド」の作成
- 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
- 若者の地元定着に向けたネットワークの構築
- 起業した経営者へ地域経済の活性化と雇用促進支援
- 外国人材受入環境向上のための多文化共生に関するセミナーの開催
- 農業、漁業、商工業等の若者によるチャレンジャーネットワークの立ち上げ

今後の取組を進める上での主な課題

■ 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給

- ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(良質な自給飼料の安定的確保、農業者の生産意欲や技術向上に向けた取組)
- 安定的な自給飼料の生産と利活用に向けた取組の推進
- サイレーン調整技術の改善及び廃棄量の低減
- 安定的な自給飼料の生産と利活用に向け継続的に優れた生産技術へ活かす取組の推進
- 省力化及び生産性の向上に向けた取組の推進
- 飼料生産基盤の整備や植生改善の推進など良質な自給飼料の安定的確保、労働力を補う支援体制の整備
- 沿岸に來遊するサケの安定生産

■ 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進

- ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(牛乳・乳製品等の高付加価値化や販路拡大)
- ◎地域連携による「食」の魅力発信の取組
- ◎根釧の牛乳・乳製品等のPR活動と食育活動の推進
- 地産地消の推進に向けた啓発活動の推進
- 地域と連携した商品の磨き上げや事業のスキルアップ及び地域ならではの食の魅力発信
- 畜産物(肉牛等)の推進に伴う、家畜ふん尿処理施設に関する情報収集及び関係者との合意形成
- 資源量が増加しているマイワシ単価の向上
- サケの高付加価値化
- サケの資源減少の原因調査と資源の回復策
- 知床らうすブランドの拡大及び知名度向上

■ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

- ◎小規模企業の経営体質の強化
- ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(多様な担い手の確保)
- ◎新規就農希望者の受入体制の強化
- ◎根釧地域や酪農の魅力発信と理解促進
- ◎就業促進に向けた取組の強化
- ◎林業労働者の安定的な確保と労働環境の改善
- 地域企業の魅力発信による地元就職の促進
- 漁村地域が主体となった受入体制の整備

酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

次年度の取組(令和3年度)

■ 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給

- ◎衛生管理型漁港の施設整備、水産資源の回復・安定のための漁場造成及びTAC制度による資源管理
- 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
- 地域に適した畜産振興の検討の実施
- マツカワ種苗放流事業への支援
- 畜産クラスター関連産業の活用による生産性の高い経営体の育成
- 優良草地確保対策及び省力化技術の普及推進
- 草地整備の施工時期分散化の推進

■ 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進

- ◎国内における物産展等の開催による地場産品のPR
- 内陸町村イベントでの水産物販売による情報発信(釧路町村会地域づくり広域プロジェクト関連)
- 管内飲食事業者との連携による地域資源の活用促進
 - ・地元生産者のPR及びチーズフェアの開催
 - ・資源増大魚種マイワシの消費拡大に向けたイベントの開催
- くしろ食のブランディング戦略の策定・推進
- 家畜ふん尿処理施設に係る先進地(バイオマス等)視察
- 根室産マイワシ「根室七星」の販促活動
- まるごと根室直送市開催
- 活〆鮭の普及対策
- 知床らうすブランドの拡大及び知名度向上

■ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

- ◎首都圏等で開催されるイベント等で行われる就農・就業促進活動への参加及び道外農業系大学等において就農に向けたガイダンスの実施
- ◎北の森づくり専門学院の地域における連携・協力体制の構築
- ◎林業・木材産業担い手確保推進協議会と連携した林業・木材産業の理解 促進に向けた取組の実施
- 「じもと×しごと発見フェアinくしろ」の開催等による地元就職促進
- 農業の第三者継承に対する支援チームの結成
- 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
- 若者の地元定着に向けたネットワークの構築
 - ・NoMaps釧路根室クリエイティブコンベンションの開催
 - ・地域づくり・地域ブランディングに向けた実践プログラムの実施
- 酪農体験ツアーの開催
- 地域振興に取り組む若者をネットワーク化するチャレンジャーミーティングの開催
- 女性農業者研修会の開催
- 外国人受入環境向上のための多文化共生に関するセミナーの開催

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31	目標年
生乳生産量	1,294千トン	1,324千トン(97%)	1,350千トン(99%)	1,336千トン(98%)	1,356千トン(100%)	1,385千トン(102%)	《H31まで》 1359千トン
釧路地域	517千トン	528千トン(98%)	539千トン(100%)	532千トン(99%)	536千トン(99%)	545千トン(101%)	539千トン
根室地域	777千トン	796千トン(97%)	811千トン(99%)	804千トン(98%)	820千トン(100%)	840千トン(102%)	820千トン
漁業生産額 (漁業就業者一人あたり)	《基準値:H25》 23,120千円	26,376千円(105%)	23,949千円(96%)	20,681千円(82%)	21,225千円(85%)	20,082千円(80%)	《R2まで》 25,070千円
釧路地域	16,222千円	19,650千円(108%)	17,634千円(97%)	16,022千円(88%)	16,032千円(88%)	15,741千円(87%)	18,172千円
根室地域	28,827千円	32,053千円(104%)	29,297千円(95%)	24,654千円(80%)	25,613千円(83%)	23,743千円(77%)	30,777千円
どさんこプラザの商品定番化							《H28~R2累計》 25件
釧路地域	5件	8件(32%)	8件(32%)	16件(64%)	21件(84%)	28件(112%)	10件
根室地域	2件	1件(10%)	3件(30%)	7件(70%)	9件(90%)	13件(130%)	15件
根室地域	3件	7件(47%)	5件(33%)	9件(60%)	12件(80%)	15件(100%)	15件
新規就農者数	約50人/年	54人/年(68%)	54人/年(68%)	49人/年(61%)	51人/年(63%)	34人/年(43%)	《R6まで》 80人/年
新規漁業就業者数	18人	17人(19%)	20人(23%)	42人(47%)	72人(80%)	94人(104%)	《H28~R2累計》 90人
釧路地域	5人	4人(16%)	11人(44%)	21人(84%)	42人(168%)	56人(224%)	25人
根室地域	13人	13人(20%)	9人(14%)	21人(32%)	30人(46%)	38人(38%)	65人

地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

豊かな自然環境など地域の強みを活かした滞在型観光の推進や広域観光周遊ルートの形成による観光地づくり、増加傾向にある移住希望者に対する受入環境の整備、移住情報の発信などによって、地域内外の人やモノの流れをつくとともに、地域の魅力を高め連携を図りながら、交流人口を拡大することで地域の活性化を図ります。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績(令和元年度)

- 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成
 - ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
 - ◎道東インバウンドガイドセミナーの開催
 - ◎LCC就航による路線定着に向けた取組の推進
 - Facebookによる外国人向けの情報発信
 - 合宿用食メニューを周知するため試食会などを開催
 - 合宿用食メニューの他、宿泊施設など合宿に関連した情報を発信
 - 合宿用食メニューの提供に向け、講習会を開催
 - 北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業の実施
 - ・東京23区交流推進員の配置(H29.6～)
 - ・「北海道くしろ!旬!秋の味覚市」(R1.11)及び「くしろフェア」の開催(R1.10、R2.2)の開催、「試食会」の実施(R1.10)
 - ・教育旅行誘致及びヘルスツーリズム拡大に向けたプロモーション活動の実施(H29.6～)
 - 「ウエルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」の開催及び魅力発信の取組
 - バードランドフェスティバル開催
 - 利用可能性調査や首都圏向け広告などJR花咲線の利用促進
 - LCC等利用者の周遊状況調査の実施
 - 根室管内でのシームレス交通の取組の検討
 - 「知床ナンバー」の普及に向けたPR用ステッカーの配布(2万枚)
- 体験移住を含めた移住・定住の促進
 - ◎移住・定住推進連絡協議会や根釧合同による地域おこし協力隊ミーティングの開催
 - ◎ふるさと移住定住推進センターを活用した情報発信(場所:東京、札幌)
 - ◎北海道暮らしフェアへの出展(釧路総合振興局、釧路市、標茶町、弟子屈町、鶴居村、別海町)
 - 民間事業者と連携したPR活動や受入環境整備による長期滞在の推進
 - 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
 - 地域づくり・地域ブランディングに向けた実践プログラム(若手社会人を対象とした研修会・交流会)の実施
 - 高校生を対象としたまちづくりセミナーの開催
 - くしろお試しワーキングホリデーの実施
 - 釧網線を活用した長期滞在者向けイベントの実施
 - 釧路地域の長期滞在者を対象とした交流イベント等の開催
 - 移住・定住希望者等向けの「移住・定住ミニサロン」の開催
 - 移住体験住宅の運用・お試し暮らしの移住定住の取組
 - 知床物産展でのPR活動(R1.11東京世田谷区)

今年度の主な取組(令和2年度)

- 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成
 - ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
 - ◎知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイのルート指定に向けた取組に対する支援
 - LCC就航による路線定着に向けた取組の推進
 - スポーツ合宿誘致を推進するためHPや冊子の配布によるくしろアスリート食のPR
 - 北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクトの実施
 - ・「くしろ地域ブランドイメージ発信力向上事業」や「くしろ地域産食材を通じた関係づくり創出事業」の実施、「くしろ地域と荒川区をつなぐ『くしろ地域ファン受け入れ窓口』」の配置
 - 関係団体と連携したチャットボット、SNSなどを活用した国内外への情報発信
 - JR釧網線・花咲線の利用促進に向けた各種取組の実施(釧路町村会・JR釧網本線維持活性化沿線協議会・JR花咲線対策沿線地域連絡協議会)
 - 道内7空港一括民間委託の空港運営事業者と密接に連携した取組の実施
 - アドベンチャーラベルワールドサミット(ATWS)2021を契機としたアドベンチャーツーリズムの推進
 - 管内市町村及び東京都荒川区との連携による「北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクトの実施
 - 「ウエルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」の開催及びプロモーション等の魅力発信の取組
 - ガイド対象者のレベルアップを目的としたガイドセミナーの実施
 - 知床ねむろ観光連盟による多言語対応HP等の情報発信強化事業
 - LCC等誘致に向けた取組の推進
 - JR花咲線の利用促進
 - 自立した観光地域づくりを目的に「地域DMO」設立に向けた取組を促進
 - 「知床ナンバー」交付開始に関するPRの実施
- 体験移住を含めた移住・定住の促進
 - ◎初心者のための北海道移住オンラインセミナー「釧路・根室編」への参加
 - 移住・定住推進連絡協議会
 - 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
 - 地域づくり・地域ブランディングに向けた実践プログラム(若手社会人を対象とした研修会)の実施
 - 大学生を対象としたまちづくりセミナーの開催
 - くしろお試しワーキングホリデーの実施
 - 花咲線を活用した長期滞在者向けイベントの実施
 - 釧路地域の長期滞在者を対象とした交流イベント等の開催
 - 移住・定住希望者等向けの「オンライン移住・定住サロン」の開催
 - 移住体験住宅の運用・お試し暮らしの移住定住の取組
 - 都市部への移住定住各種プロモーション

今後の取組を進める上での主な課題

- 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成
 - ◎地域の特色・資源を活用した魅力発信と誘客活動の強化による認知度向上
 - ◎地域の魅力を活かした広域観光周遊ルートの形成と、体験型観光のメニューづくり
 - ATWS2021を契機とした、アドベンチャーツーリズムの推進
 - ハード・ソフト両面にわたる外国人観光客の受入体制の整備
 - さらなるスポーツ合宿誘致のため、くしろアスリート食提供施設の拡大やスポーツ団体のニーズにマッチングする情報発信の強化
 - 道東道延伸効果の持続に向けた各種プロモーションの効果的な実施
 - 教育旅行、合宿誘致など、地域の自然環境や気候特性を活かした取組の推進
 - 自然環境の保全や観光振興など、知床ナンバーにかかる広域的な取組の検討
- 体験移住を含めた移住・定住の促進
 - ◎移住・定住推進連絡協議会を活用した取組の推進及び協議会で明らかとなった課題(仕事・住居など)の解消に向けた検討
 - ◎地域の特色を活かした管内連携によるPRの促進
 - ◎地域おこし協力隊や市町村間交流の継続と隊員が地域に定住できる体制づくり
 - 首都圏との交流人口・関係人口の拡大に向けた効果的なプロモーションの実施
 - 就業体験や地元住民との交流機会の提供等、本格移住に向けた取組の推進
 - 若年層の移住・定住の支援
 - 移住者の受入住宅確保、環境整備

地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト

釧路・根室連携地域

次年度の取組(令和3年度)

■ 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成

- ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
- ◎知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイのルート指定に向けた取組に対する支援
- LCC就航による路線定着に向けた取組の推進
- 北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクトの実施
 - ・「くしろ地域体験事業」、「くしろ地域ブランドイメージ発信力向上事業」や「くしろ地域産食材を通じた関係づくり創出事業」の実施、「くしろ地域と荒川区をつなぐ『くしろ地域ファン受け入れ窓口』」の配置
- 「ウェルカム道東道! オールくしろ魅力発信協議会」によるプロモーションの実施
- JR釧網線・花咲線の利用促進に向けた各種取組の実施(釧路町村会・JR釧網本線維持活性化沿線協議会・JR花咲線対策沿線地域連絡協議会)
- 道内7空港一括民間委託の空港運営事業者と密接に連携した取組の実施
- アドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)2021を契機とした、くしろ地域におけるアドベンチャーツーリズムの推進
 - 知床ねむろ観光連盟による多言語対応HP等の情報発信強化事業
 - LCC等誘致に向けた取組の推進
 - JR花咲線の利用促進
 - 自立した観光地域づくりを目的に「地域DMO」設立に向けた取組を推進
 - 教育旅行誘致

■ 体験移住を含めた移住・定住の促進

- ◎移住・定住推進連絡協議会や根釧合同による地域おこし協力隊ネットワーク化に向けた取組
- ◎首都圏等で開催される移住関連イベントへの出席
- ◎ちょっと暮らし住宅等での移住・定住の実施
- くしろ地域でのプレジャー活用促進に向けた検討
- 民間事業者と連携したPR活動や受入環境整備による長期滞在の推進
 - ・くしろお試しワーキングホリデーの実施
 - ・花咲線を活用した長期滞在者向けイベントの実施
- 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
- 地域づくり・地域ブランディングに向けた実践プログラム(若手社会人を対象とした研修会・交流会)の実施
- 釧路地域の長期滞在者を対象とした交流イベント等の開催
- ふるさと納税寄附者を対象とした「町魅力体験・体感ツアー」の実施
- 移住・定住希望者等向けの「オンライン移住・定住サロン」の開催
 - 都市部等への移住・定住各種プロモーション
 - お試し移住住宅の整備

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31	目標年
観光入込客数	《基準値:H25》 806.0万人	918.0万人(90%)	912.5万人(90%)	1,000.0万人(98%)	982.2万人(95%)	1,011.2万人(98%)	《R2まで》 1,023.6万人
釧路地域	618.6万人	727.5万人(88%)	727.8万人(88%)	809.9万人(98%)	808.5万人(97%)	816.5万人(97%)	828.9万人
根室地域	187.4万人	190.5万人(98%)	184.7万人(95%)	190.1万人(98%)	173.7万人(89%)	194.7万人(100%)	194.7万人
観光入込客宿泊客延数	《基準値:H25》 182.3万人	195.2万人(80%)	198.8万人(81%)	208.4万人(85%)	204.9万人(83%)	202.9万人(82%)	《R2まで》 246.4万人
釧路地域	156.1万人	168.2万人(78%)	173.3万人(80%)	181.4万人(84%)	180.7万人(83%)	177.5万人(83%)	217.0万人
根室地域	26.2万人	27.0万人(92%)	25.5万人(87%)	27.0万人(92%)	24.2万人(82%)	25.4万人(86%)	29.4万人
体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数	18,253日	21,747日(68%)	28,456日(89%)	26,927日(84%)	24,406日(77%)	30,383日(95%)	《R2まで》 31,900日
釧路地域	15,466日	17,934日(66%)	24,401日(90%)	23,493日(87%)	22,374日(83%)	28,752日(106%)	27,000日
根室地域	2,787日	3,813日(78%)	4,055日(83%)	3,434日(70%)	2,032日(41%)	1,631日(33%)	4,900日

環境保全と地域資源の有効利用推進プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

知床世界自然遺産、釧路湿原や風蓮湖等のラムサール条約湿地、摩周湖、アイヌ文化など地域の財産である豊かな自然環境や伝統文化を将来に残し未来の子どもたちへ引き継ぐため、森林をはじめとする自然環境を保全しながら、地域に賦存するエネルギー資源などの利活用や森林資源の循環利用及び伝統文化の保存・活用を推進します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績（令和元年度）

■ 自然環境の保全と適正利用の促進

- ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
- ◎公園内施設の整備（歩道整備、トイレ改修等）・維持管理・補修等を実施
- ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
- 地域における清掃活動の実施
- タンチョウとの共生を目的とした指針の構築へ向けた取組
- エコツーリズム推進に係る構想の運営
- 地域の文化、遺産の一連のストーリーを整理し、更なる魅力化を図るとともに、情報発信を推進

■ 地域資源の利活用の推進

- ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催及び相窓口の設置
- ◎森林整備事業による間伐・植栽の実施
- ◎森林整備に関する技術指導や情報提供
- ◎道・市町村が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
- ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
- 石炭の安定供給確保のための取組
- 新エネ・省エネに関するHPの活用及び再生可能エネルギーの利用促進に向けた情報発信
- イランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
- オホーツク文化をテーマにした講演会等の開催支援
- チャン跡に関するガイド交流会の実施
- 根室地域産エゾシカ肉「根室ディア（愛称）」の浸透と肉の消費促進を図るために、共通素材・メニューの開発や試食会を実施

今年度の主な取組（令和2年度）

■ 自然環境の保全と適正利用の促進

- ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
- ◎公園内施設の整備（歩道整備、トイレ改修等）・維持管理・補修等を実施
- ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
- ◎地域における清掃活動の実施
- エコツーリズム推進に係る構想の運営
- 地域の文化、遺産の一連のストーリーを整理し、更なる魅力化を図るとともに、情報発信を推進

■ 地域資源の利活用の推進

- ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催及び相談窓口の設置
- ◎森林整備事業による間伐・植栽の実施
- ◎森林整備に関する技術指導や情報提供
- ◎道・市町村が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
- ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
- 効率的な木材の搬出・集荷方法を推進
- 石炭の安定供給確保のための取組
- 新エネ・省エネに関するHPの活用及び再生可能エネルギーの利用促進に向けた情報発信
- イランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
- 市民ガイドネットワークの形成に向けたガイド交流会の実施
- 歴史と自然の資料館のアイヌ関係展示拡充事業
- 根室地域産エゾシカ肉「根室ディア（愛称）」の浸透と肉の消費促進を図るために、共通素材・メニューの開発や試食会を実施

今後の取組を進める上での主な課題

■ 自然環境の保全と適正利用の促進

- ◎自然環境保全対策の周知徹底及び外国人利用者の利便性向上
- ◎地域全体の環境行動の一層の浸透と定着
- ◎公園内の主要な利用拠点における多言語案内看板の設置や公衆トイレの洋式化
- 国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラムに沿った事業の実施
- 野付半島のトドワラ周辺等、自然環境の変化に対応した観光ルートの選定

■ 地域資源の利活用の推進

- ◎地域資源を活用した地産地消型再生可能エネルギーの導入促進
- ◎林地未利用材の効率的な搬出・集荷方法の推進や地産地消に向けた需給体制の構築
- ◎関係団体との連携強化による木育の推進
- ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度の取得促進
- ◎アイヌ文化の一層の理解促進や情報発信
- ◎北海道地域材利用推進方針等に基づく木材利用の推進及び計画的な森林整備
- ◎造林未済地の解消
- 炭鉱技術の海外移転事業の継続と石炭の地産地消の促進
- アイヌの歴史・文化に関する一層の理解推進及び情報発信
- 「根室ディア（愛称）」の浸透とエゾシカ肉の更なる消費拡大と共通素材を使用したメニューの地元への定着

環境保全と地域資源の有効利用推進振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

次年度の取組(令和3年度)

■ 自然環境の保全と適正利用の促進

- ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
- ◎公園内施設の整備(歩道整備、トイレ改修等)
- ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
- 厚岸霧多布昆布森国定公園に係るシンボルマーク、ガイドブック等の作成
- 地域における清掃活動の実施
- エコツーリズム推進に係る構想の運営
- タンチョウとの共生を目指した指針の構築へ向けた取組
- 関係する地域の文化・遺産の一連のストーリーを整理し、更なる魅力化を図るとともに、情報発信を推進
- 野付半島トラクターバス道等補修
- ねむろの自然の番人宣言による取組の推進

■ 地域資源の利活用の推進

- ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催及び相談窓口の設置
- ◎森林整備事業による間伐・植栽・路網整備の実施
- ◎関係団体が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
- ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
- 石炭の安定供給確保のための取組
- 地熱資源を活用した「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」
- 地域特性を踏まえた未利用間伐材等の効率的な搬出・集荷方法を推進
- アイヌ文化を活かした観光振興・地域振興の取組の実施
 - ・民族共生象徴空間やイランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
 - ・くしろ地域の特色あるアイヌ文化の体験を中心とした首都圏でのフェアの開催
 - ・アイヌ政策推進交付金を活用したアイヌ文化伝承・技術継承施設の整備や、アニメコンテンツの制作、3D模型制作事業等の実施
- 根室地域産エゾシカ肉「根室ディア」普及促進
- アイヌ文化の啓発・発信
- 森林整備に関する技術指導や情報提供
- ポー川史跡自然公園に関係する地域の文化・遺産の一連のストーリーを整理し、更なる魅力化を図るとともに、情報発信の強化を推進する

【KPIの状況】 進捗率 ～ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31	目標年
道立自然公園利用者数	774千人	896千人(94%)	843千人(88%)	887千人(93%)	721千人(75%)	806千人(84%)	《R2まで》 958千人
釧路地域	479千人	590千人(96%)	539千人(88%)	561千人(92%)	441千人(72%)	436千人(71%)	613千人
根室地域	295千人	306千人(89%)	304千人(88%)	326千人(94%)	280千人(81%)	370千人(107%)	345千人
植林面積	1,260ha	1,291ha(86%)	1,201ha(80%)	1,113ha(74%)	1,321ha(88%)	1,207ha(81%)	《R2まで》 1,497ha
道エゾシカ肉処理施設認証制度の認証施設数	-	0件(0%)	2件(100%)	2件(100%)	2件(100%)	2件(100%)	《R2まで》 2件
釧路地域	-	0件(0%)	1件(100%)	1件(100%)	1件(100%)	1件(100%)	1件
根室地域	-	0件(0%)	1件(100%)	1件(100%)	1件(100%)	1件(100%)	1件

安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

人口減少が続いている現状を踏まえ、少子化に一定程度の歯止めをかけるべく、子育て環境を整えることで子育てをしやすくするとともに、子どもや高齢者・障がいのある方にも安心な防災体制の強化や医療体制の維持などを図り、安全で安心に暮らすことのできる地域を目指します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績（令和元年度）

■ 子育て支援及び高齢化対策の推進

- ◎認定こども園の設置推進、移行の支援・助言
- ◎地域包括支援センター職員意見交換会の開催
- 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の推進（中標津町計根別地域）

■ 地域防災力の充実・強化

- ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
- ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
- ◎避難所運営ゲーム北海道版等を活用した防災教育の実施
- ◎学校の授業に防災の要素を取り入れた「一日防災学校」の実施
- ◎千島海溝沿い海溝型地震の予想津波高の国への要望
- ◎避難所運営ゲーム北海道版の講師養成研修会の実施
- ◎管内市町村防災担当者会議などでの、様々な課題解決に向けた支援実施
- ◎北海道の特色を活かした災害食レシピの普及促進
- 地域防災ミーティングの実施
- ハイブリッド電気自動車を活用した非常用電源のデモンストレーションを実施

■ 地域の医療体制の構築

- ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施、ナースバンクの活用
- ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
- ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会開催
- ◎関係機関との連携による医師派遣事業
- 看護師等の確保対策のため、高校生を対象とした看護学校の「合同進学説明会」を開催
- 医療系学校訪問や看護情報誌を活用したPRなど地域と医育大学との連携

今年度の主な取組（令和2年度）

■ 子育て支援及び高齢化対策の推進

- ◎地域包括支援センター職員意見交換会の開催
- 子育て支援ネットワーク構築に向けた取組

■ 地域防災力の充実・強化

- ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
- ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
- ◎避難所運営ゲーム北海道版等を活用した防災教育の実施
- ◎学校の授業に防災の要素を取り入れた「一日防災学校」の実施
- ◎避難所運営ゲーム北海道版の講師養成研修会の実施
- ◎北海道の特色を活かした災害食レシピの普及促進
- ◎様々な課題解決に向けた情報提供を実施
- 地域防災ミーティングの実施

■ 地域の医療体制の構築

- ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施、ナースバンクの活用
- ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
- ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会の開催
- ◎関係機関との連携による医師派遣事業
- 看護師等の確保対策のため、高校生を対象とした看護学校の「合同進学説明会」の効果的な開催に向けた地域協議を実施

今後の取組を進める上での主な課題

■ 子育て支援及び高齢化対策の推進

- ◎地域包括支援センターが担うコーディネート機能の強化や近隣センター間の連携強化
- 地域で支え合うまちづくりに向けた意識醸成
- 子育て支援モデルに対する自治体・関係団体との地域実態の把握・共有や、取組の必要性に対する理解促進、地域における担い手確保
- 地域の課題やニーズに応じた、地域の多様な主体が連携するネットワークを構築するための支援

■ 地域防災力の充実・強化

- ◎地域の災害特性を踏まえた訓練や各種会議の開催
- ◎防災情報の伝達手段における課題を踏まえた改善方法の検討
- ◎北海道地域防災マスター研修会等による防災活動リーダーの育成
- ◎自治体及び各種団体等における防災教育の推進（避難所運営ゲームの実施等）
- ◎市町村が抱えている課題把握及び課題解決に有効な助言や情報提供
- 厳冬期の大規模災害を想定した訓練の持続的な実施

■ 地域の医療体制の構築

- ◎地域での医療従事者確保及び定着
- ◎ドクターヘリの着実な運航
- ◎救急医療、へき地医療など医療提供体制の維持
- 長期的な医療機能等のあり方の協議
- 地域センター病院機能の維持・充実

安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト

釧路・根室連携地域

次年度の取組(令和3年度)

■ 子育て支援及び高齢化対策の推進

- ◎地域包括支援センター職員意見交換会の開催
- 妊娠・出産包括支援事業の実施
- 結婚活動支援イベントの実施
- 産後ケア事業・産婦健康診査事業の実施
- 地域包括支援センター等意見交換会の開催
- 認知症地域支援推進員ネットワーク会議の開催

■ 地域防災力の充実・強化

- ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
- ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
- ◎避難所運営ゲームを活用した防災教育の実施
- ◎派遣要領に基づく職員派遣とさらなる円滑な災害対応のための体制検討
- ◎管内市町村防災担当者会議などでの、様々な課題解決に向けた支援実施
- ◎「一日防災学校」を小中学校の教育課程として実施するなど、児童・生徒の防災意識の醸成に向けた取組支援
 - ・関係機関と連携した防災に関する授業、北の災害食レシピの紹介
- ◎太平洋沿岸津波浸水想定の設定、津波災害警戒区域設定に係る調整、情報提供
- 高等教育機関と連携した防災教育の普及・啓発
- 実施した訓練内容の検証結果を踏まえ、地域防災力向上につながる訓練の検討、実施

■ 地域の医療体制の構築

- ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施に係る補助、ナースバンクの活用
- ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
- ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会開催
- ◎地域医療支援センターの医師派遣事業等を活用した医師派遣の調整
- 看護師を目指す高校生の増加に向けた養成校合同説明会の開催
- 医療従事者確保に向け、HPを活用した地域の魅力発信の充実

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31	目標年
認定こども園設置数							《H31 目標値達成》
釧路地域	0か所	8か所(31%)	16か所(62%)	20か所(77%)	28か所(107%)	32か所(123%)	26か所
根室地域	0か所	0か所(0%)	5か所(36%)	9か所(64%)	17か所(121%)	17か所(121%)	14か所
根室地域	0か所	8か所(67%)	11か所(92%)	11か所(92%)	11か所(92%)	15か所(125%)	12か所
住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業への参加子育て世帯数【根室】	0世帯	8世帯(27%)	12世帯(40%)	19世帯(63%)	22世帯(73%)	22世帯(73%)	《H31》 30世帯
地域防災マスター登録者数	《基準値:H27》						《R2まで》
釧路地域	—	189人(68%)	253人(91%)	256人(91%)	320人(114%)	389人(138%)	280人
根室地域	—	120人(67%)	127人(71%)	130人(72%)	194人(108%)	232人(128%)	180人
根室地域	—	69人(69%)	126人(126%)	126人(126%)	126人(126%)	157人(157%)	100人
患者の受療動向(圏域内自給率)							
入院患者	《基準値:H25》						《R2まで》
釧路地域	94.4%	—	97.1%	—	—	R2以降公表予定	98.2%
根室地域	78.0%	—	54.9%	—	—	R2以降公表予定	81.6%
患者の受療動向(圏域内自給率)							
外来患者	《基準値:H25》						《R2まで》
釧路地域	98.4%	—	98.9%	—	—	R2以降公表予定	99.4%
根室地域	81.9%	—	85.1%	—	—	R2以降公表予定	88.1%

北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

北方領土問題が発生してから70年以上が経過しているものの、未だに解決に至っていないことから、国の外交交渉を支える国民世論高揚のために、北方領土返還要求運動の認知度向上やより一層の裾野拡大、新たな世代への継承などの啓発活動に取り組みます。

また、根室地域では、北方領土隣接地域(根室管内1市4町)が置かれている特殊な地域事情に鑑み、元島民に対する援護や地域振興及び住民生活の安定を図るための諸施策を国、地方自治体、関係団体等と連携して推進します。

平成28年12月の日露首脳会談で合意された北方墓参の改善や共同経済活動については、平和条約締結、北方領土の返還に向けた重要な一歩となり得るものであり、北方四島と隣接地域等の一体性を図りつつ、交流の拡大や共同経済活動への参入を通じて両地域の経済の活性化や将来に向けた環境整備が図られる等、日露双方に有益なものとなるように取り組んでいきます。

【施策展開】 ◎：連携地域、●：根室地域、○：釧路地域

これまでの主な取組実績(令和元年度)

■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備

- ◎街頭啓発及び署名活動の実施
- ◎北方領土関連啓発パネル展等の実施
- 「見て知る北方領土」展示会の開催
- 北方領土モノがたり事業
 - ・「触れる」「学ぶ」「知る」を軸にした北方領土問題の普及啓発及び隣接地域の振興対策の促進
 - ・北方領土啓発事業(北方領土関連遺産の発掘、研修会等)
 - ・観光分野連携事業(訪問客拡大と運動させ、学習型観光ルート開拓等、観光関連事業者向け「北方領土問題」の理解促進)
 - ・デジタルコンテンツ活用事業(これまで収集した北方領土関連遺産等の紹介や千島桜満開プロジェクトの実施及び北方領土関連の情報発信)
 - ・横断幕の掲示などによる、千島桜満開プロジェクトのPR活動
- 北方四島交流事業(ビザなし)の支援
- 共同経済活動に伴う現地調査に係る支援
- 北方墓参事業の実施、自由訪問の支援
- 航空機墓参の支援
- 北方領土隣接地域振興等補助金等による支援
- 北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策に伴う連携した取組み
- 根室管内1市4町共通(関係団体との連携含む)
 - ・各種イベント開催時、強調月間(R1. 8)、特別啓発期間(2月)の署名活動、パネル展等の啓発
 - ・北方領土返還アピール行進(R1. 12)
 - ・北方四島交流事業(ビザなし交流事業)の受入等の支援
 - ・「北方領土の日」根室管内住民大会

今年度の主な取組(令和2年度)

■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備

- ◎街頭啓発及び署名活動の実施
- ◎北方領土関連啓発パネル展等の実施
- 「見て知る北方領土」展示会の開催
- 北方領土モノがたり事業
 - ・「触れる」「学ぶ」「知る」を軸にした北方領土問題の普及啓発及び隣接地域の振興対策の促進
 - ・北方領土啓発事業(管内に所在する北方領土遺産の整理)
 - ・観光分野連携事業(北方領土遺産を訪ねるツアー及びルート発信、千島桜満開PJWebページを通じた啓発活動)
 - ・デジタルコンテンツ活用事業(千島桜満開プロジェクトの実施)
- 共同経済活動に伴う現地調査に係る支援
- 北方領土隣接地域振興等補助金等による支援
- 根室管内1市4町共通(関係団体との連携含む)
 - ・各種イベント開催時、強調月間(R2. 8)、特別啓発期間(2月)の署名活動、パネル展等の啓発
 - ・「北方領土の日」根室管内住民大会
- 航空機による上空慰霊の実施

今後の取組を進める上での主な課題

■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備

- ◎国の外交交渉を支える国民世論高揚のため、返還要求運動の認知度向上を促進
- ◎返還要求運動のより一層の裾野拡大、新たな世代への継承
- ◎国、道、市町村が一体となった啓発活動の推進(強調月間、アピール行進、啓発期間等)
- 四島交流事業の円滑な実施
- 交流事業を通じた協力関係の構築による双方の信頼関係の醸成
- 元島民の往来に係る追加的な一時的通過点の設置や現行手続きの簡素化
- 現地での確実な出入域手続
- 四島における出入域手続箇所の複数化
- 航空機墓参の継続実施
- 希望する墓地への訪問の実現
- 実施団体等に対する支援措置の強化
- 法改正を踏まえた北方領土隣接地域振興に必要な制度の構築
- 北方四島における共同経済活動に関して、我が国の法的立場を害さず、元島民や北方領土隣接地域の意見が十分配慮され、領土問題が置き去りにならないよう協議が進められること

北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

次年度の取組(令和3年度)

■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備

◎街頭啓発及び署名活動の実施

◎北方領土関連啓発パネル展等の実施

●「見て知る北方領土」展示会の開催

●北方領土次世代活動促進事業

・北方領土理解促進認知度アップ事業

(研修会・出前教室の実施)

(管内を訪れる方々への啓発活動実施)

・北方領土プロジェクト“N”

(管内高校生による啓発活動を行う機
会の提供と支援)

●北方四島交流事業(ビザなし)の支援

●共同経済活動に伴う現地調査に係る支援

●北方墓参事業の実施、自由訪問の支援

●特別墓参(航空機墓参)の支援

●北方領土隣接地域振興等補助金等による支援

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31	目標年
北方領土返還要求署名数	69,091人	57,452人(78%)	56,628人(77%)	58,541人(79%)	51,439人(70%)	54,244人(73%)	《R2まで》 74,000人
釧路地域	22,563人	23,358人(97%)	23,427人(98%)	21,055人(88%)	21,477人(89%)	21,816人(90%)	24,000人
根室地域	46,528人	34,094人(68%)	33,201人(66%)	37,486人(75%)	29,962人(60%)	32,428人(65%)	50,000人